

# 漁海況月報

平成 16 年 4 月 1 日

No. 4

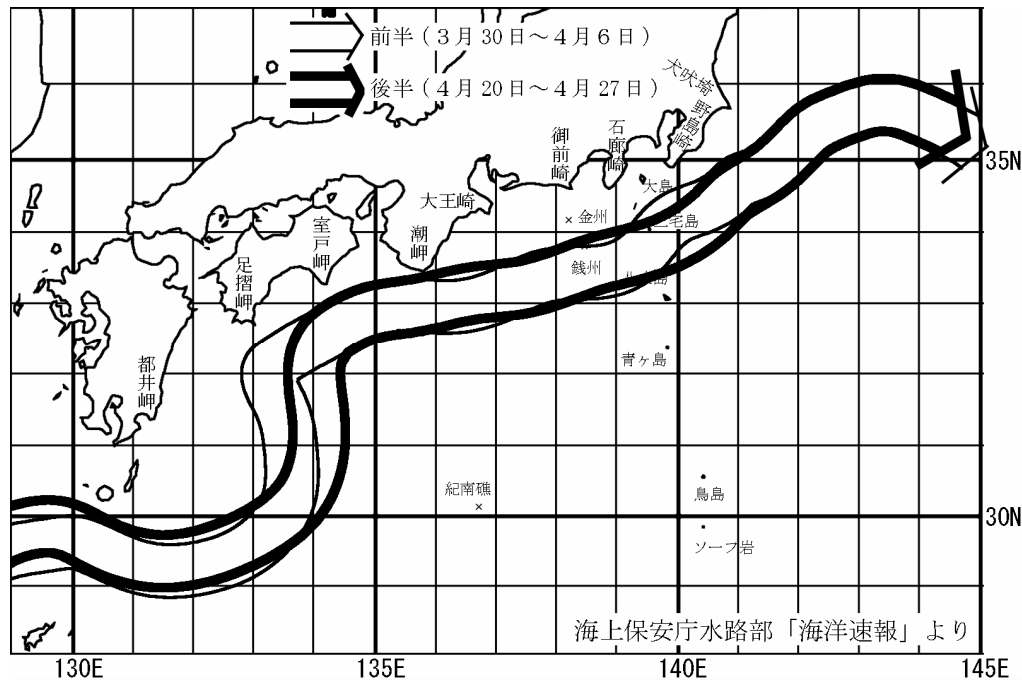
~4 月 30 日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



## 【黒潮流路】

黒潮は、先月に引き続き N 型で、遠州灘沖 33°10' ~ 33°50' N を東進、御蔵島~三宅島を通り房総沖を北東に流れた。3 月に遠州灘から駿河湾沖にみられた冷水渦は、黒潮の極めて小さな蛇行の東進に伴い、4 月中旬~下旬に伊豆海嶺を通過し房総沖に抜けて縮小した。蛇行の峰は 20 日に伊豆半島に接近し、駿河湾と相模湾内には暖水が波及した。

## 【県下沿岸域】

定地水温は、相模湾側では 14~16 台、駿河湾東部では 16~19 台、駿河湾西部では 13~18 台で経過した。県下の全ての測点で平年並~高めで推移した。

## 【竿釣近海カツオ】

4 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオの水揚量は 621 トンで豊漁であった前年同期の 44% であった。魚価は 557 円/kg で、前年同期を大きく上回った。

上旬：八丈島北西沖で、中、小、極小カツオを主体に漁獲した。

中旬：御前崎沖~犬吠崎東沖で中、小、極小カツオを漁獲した。

下旬：昨年より約 1 か月早く黒潮流域に漁場が形成された。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
16 年 4 月上旬	270	56	4.8	571
中旬	245	47	5.2	461
下旬	106	21	5.0	744
16 年 4 月計	621	124	5.0	557
15 年 4 月計	1,420	100	14.2	261
14 年 4 月計	713	95	7.5	525

## 【定置網】

平成 16 年 4 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統 (伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) における水揚量は 579 トンであった。1 漁場当たり水揚量 72.3 トンは、前年 59.0 トンの 1.2 倍、平年値 (昭和 57~平成 15 年平均値) 50.0 トンの 1.4 倍であった。

魚種別にみると、マアジ 271 トン (前年の 1.9 倍、平年の 1.7 倍) プリ 83.8 トン (前年の 6.9 倍、平年の 9.7 倍) ワラサ 80.5 トン (前年の 10.4 倍、平年の 3.9 倍) カタクチイワシ 40.1 トン (前年の 1.1 倍、平年の 1.5 倍) サワラ 21.3 トン (前年の 3.1 倍、平年の 2.9 倍) の順に多かった。

プリは尾叉長の中心 69~78cm の銘柄ぶりが川奈及び伊豆山を中心に 11,794 本入網し、2 月に続いて 1 万本以上の入網となった。銘柄わらさは北川を中心に入網し、特に北川では 4 月 18 日に 42.3 トンまとまって入網した。マアジは川奈を中心に入網し、尾叉長の中心は 14~18cm であった。特に川奈では 4 月 19 日及び 29 日に 20 トン以上まとまって入網した。カタクチイワシは富戸を中心に入網し、被鱗体長の中心は 10.5~12.5cm であった。サワラは川奈を中心に入網し、尾叉長の範囲は 68~88cm であった。

漁場別水揚量は、マアジとプリの漁獲が多かった川奈 (159 トン)、ワラサとマアジの漁獲が多かつ

2004 年 4 月

定地水温の旬平均値 ( )

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	15.4	15.9	15.7	17.4	16.6	15.9	14.6
	0.7	1.0	0.8	1.4	0.5	0.8	0.3
中 旬	16.0	16.2	16.9	17.8	17.7	17.2	17.0
	0.7	0.8	1.4	1.4	1.1	1.4	1.7
下 旬	16.4	16.5	16.3	17.7	18.7	17.0	16.5
	0.3	0.5	0.2	0.6	1.3	0.4	0.1
月平均	15.9	16.2	16.3	17.7	17.7	16.8	16.1
	0.5	0.8	0.8	1.1	1.0	1.0	0.7

た北川(124トン)、マアジとブリの漁獲が多かった伊豆山(72.8トン)の順であった。

**[サバたもすくい棒受網]**

小川港に水揚げされたサバ類は前月の水揚げ量(884トン)の約1.2倍の1,051トンで、マサバが4トン混じった。漁場は三宅近海～銭洲で、ゴマサバは32cm以下、マサバは33～35cmの大きさのものが主体であり、1kg当たりの平均単価はそれぞれ69、357円であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成16年 上旬	241	3	12	20.0	三宅
4月 中旬	578	4	17	34.0	三宅、高瀬 銭洲
下旬	232	4	13	17.9	三宅、高瀬 銭洲
計	1,051	11	42	25.0	- - - - -
平成 15 年 4 月	626	8	42	14.9	三宅、三本、高瀬、銭洲
平成 14 年 4 月	572	14	45	12.7	三宅、三本、高瀬、銭洲

**[サクラエビ船曳網]**

4月は9日間の操業で572トンの水揚量となり、前年4月をやや上回ったが、1日1か統当りの水揚量はやや下回った。漁獲されたサクラエビは、37mmにモードを持つ当歳エビを主体としながらも、43mmにモードを持つ1歳エビの割合も3月に引き続き多かった。漁場は三保～田子の浦沖に形成された。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成 16 年 4 月 上旬	149	3	平均 828	三保～富士川沖
中旬	175	3	平均 973	三保～田子の浦沖
下旬	248	3	平均 1,378	三保～田子の浦沖
平成 16 年 4 月 計	572	9	平均 1,060	-
平成 15 年 4 月 計	531	7	平均 1,263	富士川～沼津、土肥沖
平成 14 年 4 月 計	534	8	平均 1,113	富士川～由比沖

**[まき網]**

小川港では、マイワシは15.8トン水揚され、平年同期(過去5か年平均:98.4トン)の16%と低調であった。カタクチイワシは2.6トン水揚され、平年同期(22.0トン)の12%と低調であった。

沼津港では、マイワシは3.0トン水揚され、平年同期(226.4トン)の1%と極めて低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは0.2トン水揚され、平年同期(26.6トン)の1%と極めて低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

伊東港では、マイワシは水揚されなかった。カタクチイワシは83.0トン水揚された。

**[シラス船曳網]**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で242kg、遠州灘で262kgだった。主要6港平均では254kgと前年同期(540kg)の47%、平年同期(過去5か年平均:268kg)の95%であった。4月の総水揚量は433.7トンと、前年同期(989.5トン)の44%、平年同期(514.7トン)の84%に当り、好調だった前年を大きく下回った。黒潮の接近に伴い、多くの港で17日以降の数日間、一時的に水揚が増加した。平均単価は654円/kgと平年同期(796円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	35.8	13	158	227	553
舞 阪	130.1	14	429	303	686
福 田	72.5	12	304	239	568
御前崎	34.6	13	152	228	823
吉 田	83.4	14	356	234	585
静 岡	77.3	14	308	251	725
平成 16 年 4 月 計	433.7	-	1,707	(平均) 254	(平均) 654
平成 15 年 4 月 計	989.5	-	1,832	540	468
平成 14 年 4 月 計	303.3	-	1,464	207	1,148

**[調査船の動向]**

富 士 丸

4月8～26日 近海ピンナガ調査(19日間)

駿 河 丸

4月2日 駿河湾内にて ADCP テスト(1日間)

4月5～7日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

4月12日 奥駿河湾にて水質調査(1日間)

4月13日 波勝崎沖にてマリンロボ調査(1日間)

4月14～15日 金洲の瀬～石花海にてサバ漁場調査(2日間)

4月21～22日 駿河湾内にてマダイ仔魚 IKMT 調査(2日間)

4月26～27日 三宅島にてサバ漁場調査、波勝崎沖にてマリンロボ調査(2日間)